



りす組だより NO. 7



令和3年10月4日

りす組担任 細井 京子

二学期が始まり、一ヶ月が経ちました。子どもたちは、きらきらガーデンで、チョウやトンボなどを探したり、年中組や年長組の刺激を受けながら体を動かして遊んだりして、園生活を楽しんでいます。夏休み明けから、さらに一ヶ月の園生活を経て、生活、遊びや、人とのかかわりなど、様々な場面で、りす組の子どもたち一人一人の成長を目の当たりにしています。素直で明るい子どもたちの様子を見て、本当に嬉しく感じます。

9月は、かけっこ、鬼遊び、リズムなど、思い切り体を動かして遊ぶことや、トンボ作り、敬老のハガキ作り、ブドウ作り、フルーツポンチの旗作りなど、様々な製作遊びを楽しみました。

遊びや生活を通して、さらに友達と一緒に過ごす楽しさも感じています。そんな子どもたちの9月の様子をお知らせします。

ハガキ作り♪ ぼすくまちゃん お願いね♪

大好きなおじいちゃんやおばあちゃんにお手紙をお届けしよう！と、ハガキ作りに取り組みました。

住所ご記入のご協力、どうもありがとうございました。子どもたちの、かわいい指で、丁寧にスタンプしたブドウは、どのブドウも美味しそうにできあがりしました。おじいちゃん、おばあちゃんだけでなく、大好きな保護者の皆様にも見ていただけたこと、子どもたちにとっては喜びだったことと思います。

ポストの投函当日は、遊戯室で、一人一人順番に、はがきをポストに入れました。楽しい思いがたくさん詰まったハガキを、投函するのはわくわくするようで、子どもたちの表情からは、少しドキドキしている様子も伝わりました。またポストの中には、先に投函した、年長、年中組のはがきも入っていたのですが、中をちらっとのぞく子もいました。大好きな人に思いを届ける、そして喜んでいただくことができたという、今回のような経験を通し、自分たちを大切に思ってくれている人の存在に気づき、安心して、大きくなってほしいな、と願っています。

遊戯室には、
ぼすくまちゃんが♪



一人一人投函したよ♪



小麦粉粘土 こねこね～♪

教師がある日、ボールに粉と水を混ぜていると・・・「先生、それなあに？」「何してるの？」と興味津々で子どもたちが集まってきました。通りかかった、年長組さんは「パンを作っているみたい！」とつぶやきました。教師が、「これは小麦粉粘土って言って、粘土なの」と伝えと、触ってみたいという子どもたち。一人一人の分を渡していくと、みんな大喜び。はじめは、「気持ちよいな～」と、感触を十分に味わい、その後、いろいろな形に見立てて遊びました。子どもたちの発想はとても豊かで、ドーナツやピザ、おもち、ケーキ、パンケーキ、オムライスなどのごちそうから、カタツムリ、雪だるま、カブトムシなど・・・次々に作っていました。年少組の今の時期ならではの、自由なイメージに驚かされました。

また、翌週には、この経験を生かして、お月見団子作りをしました。みんな、粘土職人なので、いくつもお団子を作って「お月様に食べさせてあげたい」と楽しんでいました。今後も、油粘土や紙粘土など、様々な素材を用いて、遊びを楽しめるようにしていきたいと考えています。



やってみたいな♪



お団子いっぱい！！

ふわふわで気持ちよいね！



テープでぺたぺた・・・おいしいブドウのできあがり♪



これまで、描いた塗り絵を、壁やペーパーサートなどに付ける際は、教師が切ったテープを渡して、貼ることを楽しんできました。自分でセロハンテープを切って使えることを楽しめるようになると、より作る経験も広がっていくと考え、9月のおいしい味覚、ブドウ作りをすることにしました。

セロハンテープは、片手で台をしっかりとか押さえること、また反対の手で、ちょうど良い長さにテープを出し、斜めに、切る、という技術が必要です。始めは、前に引っ張ってしまい、なかなか切ることが出来ませんでした。徐々にコツをつかんできています。

一人一人、個性豊かな素敵なブドウができあがった後は、学級のみんなで、できあがったブドウを見て、「みんな違って、みんな素敵なブドウができたね!」と、それぞれの良さや素敵なおところを見付ける時間をつくりました。一人一人、自分の作った物をみんなに見てもらおうと、嬉しそうでした。

また、ブドウ作りの後も、別の遊びの中で、お面やくるくる棒にセロハンテープで、描いた塗り絵を自分で付けようとしています。今後も、子どもたちの「やりたい!」という思いを大切に、遊びの中で、安心して使えるように援助していきます。



「ちーち!」の長さで♪



自分でくるくる棒につけてみたいな!



年中組さん、年長組さん すてきだな♪

年中組さんが、戸外でかけっこやリズムをしていたり、年長組さんがリレーやバルーンをしている様子に気付くと、興味津々で見ている子どもたち。「うさぎ組さんやばんだ組さんみたいに、外で踊るのが楽しそう!」「きりん組さんやぞう組さんみたいにかっこよく走るの素敵だね」と、憧れの気持ちを高めていました。

そんな刺激を受けて、「楽しんでいるリズムやかけっこを、みんなでやってみよう!」と声を掛けると、みんな大喜び。憧れの気持ちは、年少組の子どもたちの意欲につながり、「楽しかった!」「気持ちよかった!」という経験の積み重ねが、自信につながっていきます。その一つ一つの経験を大切にしていきたいと考えています。

また、先日は、うさぎ組が「おめでとうを100回」のリズム遊びを教えてくださいました。このような交流の機会を意図的に設けながら、お兄さん、お姉さんと一緒に遊ぶ楽しさ、優しくしてもらえる喜びも味わえるようにしていきます。



年長さんのバルーン!



にっぽんチャチャチャ!



おめでとうを100回♪



フルーツポンチ



学級で楽しんで踊ってきたリズム『フルーツポンチ』♪ 器に色々な果物を小さく切って、ソーダを入れて作るおいしいフルーツポンチを表現した可愛い踊りです。

始めは、保育室で、りす組みんなで踊っていましたが、年中組や年長組が戸外で踊っているのを見て、「外で踊るのも気持ちよさそう」と、園庭で踊ることも楽しんでます。

フルーツポンチの旗作りでは、丸、三角、四角の好きな色や形の紙で糊付けしたり、キラキラとした炭酸をイメージしたシールを貼ったりして、自分だけのフルーツポンチを作りました。自分で、世界にたった一つのフルーツポンチを作ることができたことで、さらに、フルーツポンチに親しみを感じています。

イチゴの帽子を身に付けて踊ることを毎日のように楽しんでいる子どもたち。ミカンの帽子を身に付けていることり組ともとっても仲良しです。教師や友達みんなで踊る楽しさを十分に感じてほしい、と願っています。



おいしいフルーツポンチにしたいな♪



いちごの帽子が届いたよ♪
嬉しいね!



遊戯室で踊ったよ♪



おいしい♪食べちゃおう!